

## 授業実践（４）中学校 1 年生「受け取ったメール」

1 主題名 本当の友情【内容項目 B－(8)友情、信頼】

2 教材名 「受け取ったメール」(改作資料)

(「チェーンメール、あなたならどうする？」出典『みんなで生き方を考える道徳1』)

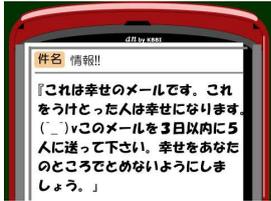
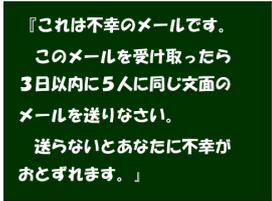
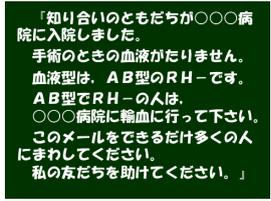
3 資料のあらすじ

人の悪口などの後に、「送らないと、あなたに不幸がふりかかります」という内容の「不幸の手紙」は、今では、「チェーンメール」として様々な内容が送られてくる時代になった。自分がチェーンメールを受け取ったら、どう思うか、どうするか考えさせる内容で、メールの文面と、中学生の考えの例が「メールを回した人」と「回さなかった人」として挙げられた資料を基にした、改作資料である。

4 本時のねらい

友達に忠告することのできない心の弱さを実感するとともに、互いに信頼し合える本当の友情について考えを深める。

5 授業の実際

	学習活動 ◆主な手立て	主な発問(○) 生徒の発言(・)
導入	<p>1 自分と親友との関係について考える。</p> <p>2 携帯の所持率や利用率について、全体で交流する。</p> <p>◆普段の生活での電子メールの利用を想起させ、資料へとつなげた。</p>	<p>○あなたがこれまで、親友のためにしてあげたことは、どんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日にプレゼントをあげた。</li> <li>・悩みを聞いてあげた。</li> </ul> <p>○携帯の所持率について、全国の統計を見てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生は半分ぐらいの人が持っている。</li> <li>・女子が持っている率が高い。</li> </ul>
展開	<p>3 資料「受け取ったメール」を読んで、自分の行動を考える。</p> <p>◆電子黒板を使い、イラストの中でメール文を紹介し、実際に受け取った場面を想像させて、課題を見付けさせた。</p> <p>(1) ワークシートの 1 に自分の考えを書く 【書く活動①】</p> <p>(2) ネームカードを黒板に貼る。</p>	   <p>○もし、あなたが、親友からこれらのメールをもらったら、回しますか、回しませんか。それは、なぜですか。</p> <p>(回さない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面倒だから。</li> <li>・人の悪口を言うのはダメだと思うから。</li> <li>・もらった人が不快な思いをされるかもしれないから。</li> <li>・無視する。</li> <li>・本人に「やめた方がいいよ」と言う。</li> </ul> <p>○班で意見を出し合って、どうするか、話し合ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親友だったら、間違ったことをしてほしくないな。</li> <li>・親友にだったら、「回さないよ」と言える。</li> <li>・回さない理由を親友に伝えると思う。</li> </ul>

	<p>(3) 班の話合いのまとめを代表者がホワイトボードに記述し、黒板に貼る。 <b>【話し合い】</b></p> <p>◆その行動が、誰のためになるか、具体的に考えさせて、ねらいに近づけた。</p> <p>(4) ワークシートの 2 に自分の考えを書く。 <b>【書く活動②】</b></p>	<div data-bbox="938 174 1262 389" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やめろと言ってあげる。言われた人がかわいそうと言って止めてあげる。</li> <li>・既読無視する。または削除する。</li> <li>・面白くないという。</li> <li>・面倒なので、「回すな」という。</li> <li>・回した人に会ったら、親友だからこそ面白くないという。</li> <li>・回さない理由を親友に言う。</li> <li>・スタンプを送って話題を変える。</li> <li>・送ってきた本人にメールか電話して回さないという。</li> <li>・親友に「やめた方がよくない」という。</li> </ul> <p>◎本当の親友とは、どのような関係だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親友が悪いことをしていたら、注意する。何でも話せるのが本当の友情。</li> <li>・間違ったことを指摘し合える。</li> <li>・メールをどうするか、一緒に考える。</li> <li>・見返りを求めるわけではなく、親友のためにしてあげたいと思う関係。</li> </ul> <div data-bbox="1150 875 1458 1070" data-label="Image"> </div>
<p>終末</p>	<p>4 授業の感想を書く。 ◆真の友情を築くことにつながる場面や名言を紹介し、余韻をもって終わった。</p>	<p>○授業を通して、考えたことや感じたことを書きましょう。</p>

## 6 授業のまとめ

### ○書く活動について

- ・ワークシートに書かせたり、ネームカードを黒板に貼らせたりすることで、これまでの経験やその時の感じ方や考え方に照らし合わせた自分や友達の考えを知ることができた。
- ・生徒自身の考え方の変容が分かるように、ワークシートの記入した後、班で話し合いをする際に友達の考えを赤ペンで書くなど、色を変える工夫が必要であった。

### ○話し合いについて

- ・グループの話し合いでは、友達との意見交流をすることによって、自分や友達が、①自己意識、②相手意識、③第三者的意識のどの立場を意識した考え方が、吟味することができた。
- ・グループで話し合ったことをホワイトボードに記入して黒板に貼ったことにより、全体の考えを可視化することができ、様々な視点から全体の交流を行うことができた。
- ・自分が選んだ判断の結果が、「親友のため」ではなく、「第三者のため」と考えた生徒にとっては、ねらいである友情・信頼に考えが及びにくかった。

## 中学校第 1 学年 道徳学習指導案

1 主題名 本当の友情 【内容項目 B-(8) 友情、信頼】

2 教材名 「受け取ったメール」 (改作資料)

3 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

○生徒の実態について

中学生の時期は、互いに心を許し合える友達を真剣に求めるようになる。また、児童期からの成長とともに、親や教師から自立しようとする気持ちから、喜びや悩みなど自分の心情を、同世代の友達に理解してもらいたいという気持ちが強くなってくる。そのため、時に表面的なところだけ合わせて同調したり、その場だけの関心や都合のいい関係を作ったりすることもある。

また、現在では、身近で便利なツールとなっているメールで友達とつながっていることの多い中学生にとって、携帯電話やパソコンに潜む危険性を理解していても、自分を制することが難しく、表情が見えないやりに、ときに友情や信頼を崩してしまうこともある。

このような時期に、相手の内面的なよさに目を向け、互いに励まし合い、忠告し合い、信頼を基盤として成り立つ友情について深く考えさせたい。

男女協力して活動に取り組み、学級や部活動を中心としながら仲の良い友達をもっている。友達とも深く関わるようになる一方で、時折、よく考えずに思い付きで発する言葉が原因となるトラブルが起こることがあり、言葉の大切さについて、日頃から考えなければいけないような場面も見られる。また、集団の中で一人になることを恐れたり、安易な考えや表面の楽しさだけから友人の間違った言動に同調したりする場面が見られる。また、自分の携帯電話やスマートフォンを所持している生徒が多く、メールやラインのつながりで、学校生活はもとより校外での友人関係においても、親交を深めている。メールやラインによる問題を未然に防いだり、生じた問題点を解決するために、本当の友情について考えさせるきっかけとしたい。

○資料の活用について

チェーンメールは、携帯電話やパソコンに「このメールを 3 人の人に送ってください」などのように、同じ内容のメールを多くの人に転送することを求めているもので、これにより、いつの間にか悪口や陰口が広まり、悲しい、苦しい思いをする人がいる。本資料は、チェーンメールが回ってきたときの対応について、どうすべきか、情報モラルを学ぶことができるものであるが、本授業では、送ってきた友人にとって、自分がどうすべきか考えさせて、本当の友情について考えさせたい。携帯電話でつながる友人関係が多くなるこの時期に、この題材を扱うことで、自分と重ね合わせて友情について振り返らせるようにしたい。

○指導の重点

本時の導入では、親友のためにしてあげたことについて振り返らせたり、事前アンケートを提示したりしながら、自分と親友の関係を思い浮かべさせ、資料につなげていきたい。そして展開前段で、親友から送られたチェーンメールを想定し、どのような行動に出るかを考えたり、意見を交流したりしながら、親友の間違った言動を忠告することが、相手を思う友情につながることに気付かせたい。

後段では、チェーンメールを止めることに焦点を当て、グループの話合いで、よりよい友達関係を築くための手立てを出させたい。最後には、相手を思う気持ちをもつことや友情の尊さについて、自分のこととして考えたり、判断したりすることの大切さを考えさせたい。

4 ねらい

友達に忠告することのできない心の弱さを実感するとともに、互いに信頼し合える本当の友情について考えを深める。

## 5 展開

	学習活動	主な発問(○)と予想される反応(・)	指導上の留意点
導入	1 自分と親友との関係について考える。 2 携帯の所持率や利用率について全体で交流する。	○あなたがこれまで親友のためにしてあげたことは、どんなことですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と親友との関係について、事前にアンケートをとり、結果を紹介する。</li> <li>・普段の生活での電子メールの利用を想起させ、資料へとつなげていく。</li> </ul>
展開	3 資料「チェーンメール」を読んで、自分の行動を考える。 (1) ワークシートの1に自分の考えを書く。〔書く活動①〕 (2) ネームカードを黒板に貼る。  (3) 班の話合いのまとめを代表者がホワイトボードに記述し、黒板に貼る。〔話合い〕  (4) ワークシートの2に自分の考えを書く。〔書く活動②〕	<p>○もし、あなたが、仲の良い友達からこのメールをもらったなら、回しますか、回しませんか。それは、なぜですか。</p> <p>【回す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸せのメールだから。</li> <li>・なんとなく。</li> <li>・メールの内容による。</li> </ul> <p>【回さない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうもしない。</li> <li>・送ってきた相手に連絡する。</li> <li>・○子さんがかわいそうだから。</li> </ul> <p>○班で意見を出し合って、どうするか、話し合ってみましょう。</p> <p>◎このチェーンメールを止めることができるような友情とは、どのような関係だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を思って行動できる。</li> <li>・信頼し合える関係。</li> <li>・携帯電話以外の友情。</li> <li>・いけないことを注意できる関係。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に経験があるかどうか聞いたリ、いくつかの例を見せたりして、安易に回してしまう気持ちに共感させる。</li> <li>・「回さない」を選んだ場合、どうするかを考えさせる。</li> <li>・理由を分類し、それぞれどのような心情でこのような行動に出るのか考えさせる。</li> <li>・電子黒板を使い、イラストの中でメール文を紹介し、実際に受け取った場面を想像させて、課題を見付けさせる。</li> <li>・その行動が、誰のためになるか、具体的に考えさせて、ねらいに近付ける。</li> <li>・チェーンメールが、短時間で広範囲に広がることに気付かせる。</li> <li>・出された意見と同じような考えをもっている生徒に発表させたり、出された意見についての考えを発表させたりして、全体で交流を広げていく。</li> </ul>
終末	4 授業の感想を書く。	○授業を通して、考えたことや感じたことを書きましよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真の友情を築くことにつながる場面や名言を紹介し、余韻をもって終わる。(または、教師の体験を語る。)</li> <li>・ワークシートに「これからの自分」の枠を作り、自分の生活につなげさせる。</li> </ul>

道徳ワークシート

月 日( )

『チェーンメール』

1 もし、あなたが、仲のよい友達からこのメールをもらったら、回しますか、回しませんか。それは、なぜですか。

〔回す ・ 回さない〕

理由

{

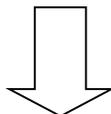
}

2

Blank rounded rectangular box for writing.

3 授業を通して、感じたこと、考えたことを書こう。

号 氏名



これからの自分はどのように？

Horizontal lines for writing, with vertical bars at the ends.